

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名		子育て支援課	事業No.	107
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始		H19	終了	
事務事業名		重症心身障害児通園事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			地域福祉計画
	法令・例規等			児童福祉法
			障がい者総合支援法	
事業目的		対象	重症心身障害児とその保護者	
		意図	健康状態に合わせた通園をし、個々の機能訓練や家庭外での活動・体験の場を広げ発達を支援します。	

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	個々に対する必要な支援を十分把握し、研修等で得た専門的な知識や技術を、園内の生活の場で繰り返し実践しました。 コロナ禍において、医療的ケア児の通所や支援・病院のりハビリ情報を得て活用すること・居宅訪問支援について等、慎重に配慮した上で実施しました。保護者の思いを傾聴し個々の成長を促すとともに、医療的ケア児と家族が安心して安全に通所し生活するための支援を、新型コロナウイルス感染症の最新情報を共有し実践しました。		研修旅費			4					
			光熱水費			1,009					
			会計年度任用職員報酬等 (PT、保育士、調理員)			6,536					
			その他の経費			640					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
			計画	実績	計画	実績	計画	実績			
	登録者数	人	6	7	6	8	6	6	6	5	
	延べ利用人数	人	486	243	486	246	486	357	486	236	
2年度 決算 (千円)	予算額	11,176	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	8,189	(県) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金 (10/10)								
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 児童発達支援給付費負担金 3,200千円							
		県支出金	130	(そ) 諸収入 782千円							
		地方債	0								
		その他	3,982								
一般財源	4,077										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	4	1	3	8,414	6,536	会計年度任用職員人件費
2	1	3	2	4	14	1	2,762	1,653	重症心身障害児通園事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		令和元年度から居宅訪問型児童発達支援事業を実施して2年が経過しました。人工呼吸器を装着している等外出が困難な医療的ケア児に対して、引き続き在宅支援の内容を充実させる必要があります。コロナ禍において、より衛生的かつ安心安全な支援を保障しながら、個別の配慮点を支援者全員で共有して実践します。							
上記の課題解決のための有効策		職員研修など資質向上の機会を確保することとコロナ禍における適切な支援の在り方を確認することが大切です。医療的ケア児等コーディネーターによる対象親子への支援を担任と共有していく必要があります。市立病院・県立こども病院・信大付属病院・信濃医療福祉センターなど関係医療機関との連携により適切な保護者支援を行う必要があります。							
次年度に向けての取り組み		職員の支援スキルの向上に努めます。多職種の協働体制による居宅訪問型児童発達支援を充実します。医療的ケア児等コーディネーター養成研修を受講し医療的ケア児と家族の支援を担任と連携して実践します。コロナ禍における衛生面の見直し・改善点の洗い出しを行い室内環境を再考します。病院受診同行など保護者の不安により添った丁寧な支援を実践します。							